

# 燃え上がる作陶の炎 笠間焼

ひまつり  
陶炎祭

〔4/29〜5/5〕

笠間芸術の森公園内のイベント広場で、毎年ゴールデンウィークに開かれる陶炎祭(ひまつり)は、今年で25回目を迎えました。200人を超える窯元や陶芸家たちが一堂に集合して、作品を直接販売する一大陶器市で、県内最大級のまつりです。期間中は、さまざまな飲食店をはじめ陶芸家や窯元などの個性豊かな作品と店作りで、来場者たちを楽しませてくれました。また、地元小学生による土面コンクールや創作窯で炎を焚き上げながらの夜祭りライブコンサート、子どもたちが粘土遊びができるコーナーなども設けられ、期間中は約23万4千人の来場者たちでにぎわいました。



個性豊かな作品を見る来場者



土面コンクール



粘土遊びをする来場者



夜祭り



地元小学生による稲荷ばやし

## 新緑の北山を散策〔5/21〕



元気いっぱい歩く参加者

5月21日(日)、健康づくりを目的に「歩け歩け大会」が開催されました。この催しは、友部保健センターから北山公園までを往復するもので、天気に恵まれた当日は、子どもから高齢者まで150人が参加し、水筒やお弁当の入ったリュックなどを背負って往復約10kmを歩きました。普段は、車で素通りしてしまう風景でも、ゆっくりと自分のペースで歩きながら、道端で草花を見つたり太陽の光を十分に浴びたりして、参加者の皆さんは、新緑の1日を楽しみ、心身ともにリフレッシュできたようでした。

## 介護予防の講演会を開催〔5/18〕

旧笠間市、友部町、岩間町の3つの食生活改善推進協議会が合併し、笠間市食生活改善推進協議会が結成されたことを記念して、5月18日(木)、笠間公民館大ホールで記念講演会が開催されました。講師に、リハビリ医学が専門で各地でリハビリ体操の普及に努めている、茨城県立健康プラザ管理者大田仁史氏を招き、「地域でつくる介護予防」と題してお話いただきました。県内の介護の状況や介護予防の施策、そして100歳近くなる自らの母親の介護の話など「尊敬ある介護」の大切さを熱心に語っていただきました。



多くの参加者の前で講演する大田氏

# ま ち の 話 題



## 清流にヤマメを放流〔5/14〕

5月14日(日)、本戸もとどの清流にヤマメの稚魚が放流されました。この活動は、「つくば清流会」の協力で毎年行われているもので、当日は、南小・南中・笠間中の児童・生徒など約70人が参加し、約500匹の稚魚が放たれました。ヤマメはきれいな川にしかすまない魚です。本戸地区内にヤマメがすめるといふことは、この地区がすばらしい自然環境にあることを意味しています。ヤマメを放流することによって、自然環境を大切にしようという気持ちを実感し、放流した稚魚の成長をみんなで願いました。



大きくなって戻ってくることを願いつつ放流